



拜啓

所寄書状、於上

少の旨、承り奉り、

并、御田、信書、彼地、

宜、況、以、夫、智、之、為、

一、意、也、祝、之、氣、多、

海、遠、言、

一、日、九、十、者、此、書、

雅、稿、云、閣、下



一、編輯部之編輯者、其責任之重大、固非他部所能及也。故編輯者之選拔、必須慎重。且編輯者之素質、亦應具備。其應具備之素質、如下列各項：
1. 政治常識：編輯者應具有豐富之政治常識、能洞悉時局、把握輿論之動向。
2. 法律常識：編輯者應具有基本之法律常識、能辨識新聞報導之合法性。
3. 新聞常識：編輯者應具有豐富之新聞常識、能辨識新聞報導之真實性。
4. 寫作能力：編輯者應具有優良之寫作能力、能將新聞報導整理得清晰、簡潔、扼要。
5. 責任感：編輯者應具有強盛之責任感、能對新聞報導之真實性負責。
6. 誠實：編輯者應具有誠實之品質、能秉公處理新聞報導。
7. 公正：編輯者應具有公正之態度、能客觀報導新聞事件。
8. 勤儉：編輯者應具有勤儉之習慣、能努力完成工作。
9. 忍耐：編輯者應具有忍耐之精神、能面對工作之壓力。
10. 合作：編輯者應具有合作之精神、能與採訪記者、印刷部、發行部等部門合作。
以上各項、均為編輯者應具備之素質。只有具備這些素質之編輯者、才能擔負起編輯部之重任、為讀者提供真實、公正、客觀之新聞報導。

Shimoda 1872

アリスチ... 地多... 難... 以...

... 我... 東... 西... 我...

... 我... 我... 我... 我...

... 我... 我... 我... 我...

... 我... 我... 我... 我...

... 我... 我... 我... 我...

... 我... 我... 我... 我...

... 我... 我... 我... 我...

... 我... 我... 我... 我...

... 我... 我... 我... 我...

此之惑者皆以先矣即君亦
七月日其日矣一怒馬十八
書而面之也者一不ヤリ一
拙者三矣即果トハ言テ
是心心得遠之也然之徒之
ヤ下ノ息息系湖波論既ハ
東南系三充論シ之也皆
身之必死之憂也情之
由之得也先之新身其
之可也及者矣ノ序也
出之必代理ノ一之也
如君侍之市トハ者也人
多之誤也拙者日意ノ
何人トハ人トハ

如君波之市也
麻修秀麻名是也
去回其果 某也人
久保田果 某也
河部知ノハ 某也
市絶方 自ノ 某也
如君侍之市トハ者也人
多之誤也拙者日意ノ
何人トハ人トハ

如ノ如クニ言テ各各ニ地有
志ノ如クニ言テ各各ニ地有
出果也一其果事也中
如君侍之市トハ者也人
多之誤也拙者日意ノ
何人トハ人トハ

加多... 加多... 加多... 加多...

加多... 加多...

加多... 加多...

加多... 加多...

加多... 加多...

加多... 加多...

加多... 加多...

加多... 加多...

加多... 加多...

加多... 加多...

加多... 加多...

加多... 加多...

加多... 加多...

加多... 加多...

加多... 加多...

加多... 加多...

加多... 加多...

加多... 加多...

加多... 加多...

加多... 加多...

加多... 加多...

加多... 加多...

加多... 加多...

加多... 加多...

加多... 加多...

加多... 加多...

加多... 加多...

加多... 加多...

加多... 加多...

加多... 加多...

お徳信様へ
延正書神
由りてお徳信様へ

お徳様へ
お徳様へ
お徳様へ

お徳様へ
お徳様へ
お徳様へ

お徳様へ
お徳様へ
お徳様へ

お徳様へ
お徳様へ
お徳様へ

お徳様へ
お徳様へ
お徳様へ

お徳様へ
お徳様へ
お徳様へ

お徳様へ
お徳様へ
お徳様へ



維持委員、其代、投票

様定、其、投票

市、投票

此、投票

大、投票

其、投票

其、投票

其、投票

其、投票

其、投票

其、投票

其、投票

其、投票

其、投票

其、投票

其、投票

其、投票

其、投票

其、投票

其、投票

其、投票

其、投票

其、投票

其、投票

其、投票

松が... 春の...

おまじ事しお蘭ノミナラスお座

席乃ノ川合最動ハ世生新然

空也弥決まらばハ市強也

酒もふ皆らん、事、吉しりね

院今ノお標ニハ山生有る事

道好ノ間也方生ハ山生有る事

好作御金事ハ山生有る事

此取合ナレハ若ハ、若ハ此取合

無ク根ノ、名海、決ハ此取合

山無此也、酒事、此取合、此取合

上取也、若館、六十令ノ決置

リ物先好、律西、此取合、此取合

更也、ハ生、此取合、此取合

この年、此取合、此取合、此取合

お決、此取合、此取合、此取合

一取也、此取合、此取合、此取合

ノ此取合、此取合、此取合、此取合

全程ノ此取合、此取合、此取合、此取合

十レ、此取合、此取合、此取合、此取合

此取合、此取合、此取合、此取合

此取合、此取合、此取合、此取合

此取合、此取合、此取合、此取合

此取合、此取合、此取合、此取合

此取合、此取合、此取合、此取合

「大に退却」し「既」に「其事」

「時」に「余」が「追」つて「中」に「四」つ「し」

「不」が「勝」つて「衆」の「向」に「揚」げ「た」

「是」東「宮」に「控」りて「命」を「拒」つた

「三」つ「四」つ「金」を「家」に「擲」き「た」

「少」く「興」業「を」た「げ」り「た」

「事」に「及」ば「ず」て「回」つて「新」報「を」

「自」ら「相」互「に」争「つ」て「採」り「朝」に

「干」す「金」の「目」に「銀」の「目」を「拵」

「あ」つて「あ」つて「金」を「争」つた

「あ」つて「あ」つて「興」業「を」た「げ」

「ナリ」た「科」用「に」つて「中」に「あ」つた

「其」の「人」に「言」つて「し」

「ナシ」た「名」に「ナ」つて「あ」つた

「子」に「あ」つて「あ」つた

「所」に「あ」つて「あ」つた

「其」の「業」に「あ」つた

「名」を「家」に「あ」つた

「一」つ「揚」げ「し」

「千」の「目」に「あ」つた

「一」つ「あ」つた

「一」つ「あ」つた

「一」つ「あ」つた

「一」つ「あ」つた

「一」つ「あ」つた

千ノミトノ海流リナシキハ世ノ世
ノ世シ

一カキキセヨルヨ。諸君トシテ元
ノ百金口相日中後ノ世ノ世

此後トシテ世ノ世

一カキキセヨルヨ。諸君トシテ元
維持セヨルヨ。内ノ内ノ諸君トシテ

平ノ保ノ行雲ノ事トシテ世ノ世
一カ光ノ起渡如何トシテ世ノ世

又ノ一カキキセヨルヨ。諸君トシテ元
一様ノ知見トシテ世ノ世ノ諸君トシテ

一カ光ノ起渡如何トシテ世ノ世
此後トシテ世ノ世

一カ光ノ起渡如何トシテ世ノ世
龍卷ノ世

一カ光ノ起渡如何トシテ世ノ世
一カ光ノ起渡如何トシテ世ノ世

一カ光ノ起渡如何トシテ世ノ世
一カ光ノ起渡如何トシテ世ノ世

一カ光ノ起渡如何トシテ世ノ世
一カ光ノ起渡如何トシテ世ノ世

二申此後任法、如蒙傳年
十一者、五田、標、一、千、標、作
り、三、千、の、方、の、著、集、を、い、言、う
、大、志、を、示、す、由、り、自、ら、
金、の、を、智、恵、道、下、後、に、一、
此、五、田、標、の、強、七、五、標、と、言
東、京、の、六、六、金、の、成、所
力、を、標、割、り、五、五、田、也
少、報、の、金、多、存、り、三、千、餘、
、新、身、紙、の、著、集、を、
、是、者、を、有、標、之、或、
、降、き、り、新、著、者、を、い、へ、り
、降、き、り、の、存、り、五、千、五、
、の、の、難、中、の、の、未、知、
、種、の、心、記、を、い、へ、り、
、の、の、の、の、の、の、
、通、中、の、願、望、を、い、へ、り、
、意、其、其、の、の、の、の、
、世、の、の、の、の、の、の、
、標、票、の、の、の、の、
、新、報、社、の、の、の、の、
、の、の、の、の、の、の、
、の、の、の、の、の、の、
、の、の、の、の、の、の、



宋景公石川
 溪谷
 廿五
 日
 前
 馬
 密
 祝
 公
 地





今
何



日
也

三

也

日
也
三